



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本製品の組立て後の製品重量は、障子1枚あたり最大で60kgになります。対応する人数で取付けおよび建込みを行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

■取付け上のお願い

●本製品は合わせガラスや複層ガラス使用の場合などはかなりの重量がかかります。下枠が下がらないよう、あらかじめ下枠裏側にモルタルを充てんしてください。

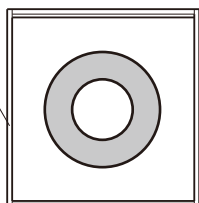
●枠は必ず指定のスクリーナ釘・木ねじで固定し、下枠のモルタルが固まったことを確認してから障子を建込んでください。

●開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。

●施工前には、必ず開口部の水平、垂直および枠の出来寸法を確認してください。(枠の出来寸法はカタログを参照ください。)
「気密・断熱性能の低下」、「障子の開閉が重くなる」、「鍵が掛からなくなる」といった原因になります。

【正常】

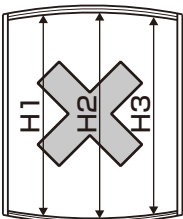
引戸枠



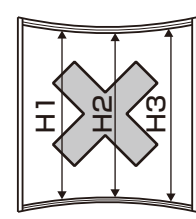
【1】枠のH方向の確認

●枠のH方向の寸法(H1・H2・H3)を同じにしてください。鍵が掛かりにくくなったり、障子の建付け調整ができなくなります。
※最大値と最小値の差が2mm以内になるように調整してください。

【太鼓状態】



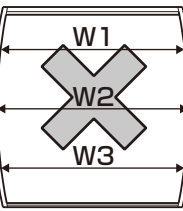
【つづみ状態】



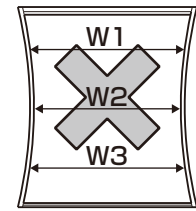
【2】枠のW方向の確認

●枠のW方向の寸法(W1・W2・W3)を同じにしてください。鍵の位置が合わなくなります。
※最大値と最小値の差が2mm以内になるように調整してください。

【太鼓状態】



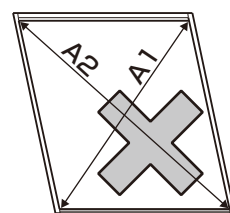
【つづみ状態】



【3】枠の対角方向の確認

●枠の対角方向の寸法(A1・A2)を同じにしてください。鍵が掛からなくなったり、戸先にすき間があいたりします。
※A1とA2の差が3mm以内になるように調整してください。

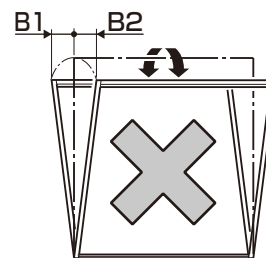
【傾き状態】



【4】枠の内外方向(倒れ)の確認

●枠が内外方向に倒れないようにしてください。障子の開閉が重くなることがあります。
※B1もしくはB2が2mm以内になるように調整してください。又、枠の左右が室内外別々の方向に倒れないようにしてください。

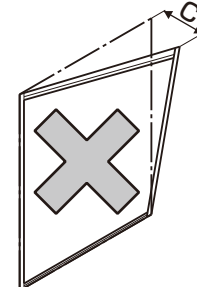
【倒れ状態】



【5】枠のねじれの確認

●枠の左右の出入り位置を合わせてください。C寸法が規定値を超えると、障子の建付け調整ができなくなったり、開閉が重くなることがあります。
※Cが2mm以内になるように調整してください。

【ねじれ状態】

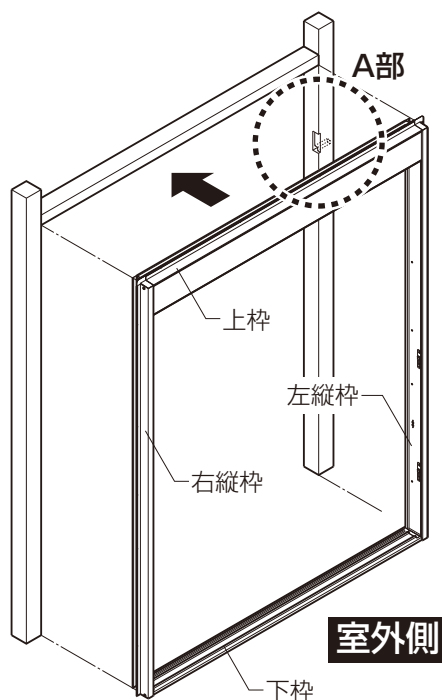


■取付けねじ

① 皿木ねじφ3.8×45	② スクリーナ釘φ2.1×32	③ 丸木ねじφ4.1×63
④ 皿タッピンねじφ4×35	⑤ 皿木ねじφ3.1×20	⑥ ナベタッピンねじφ4×60

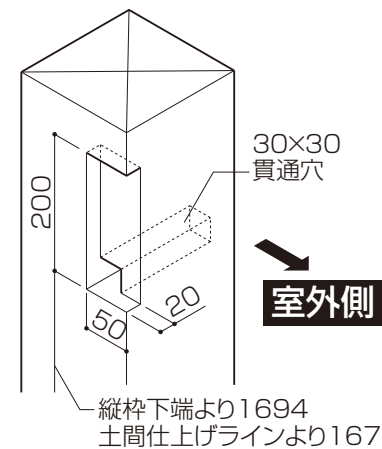
■配線引出し部木加工図(リニア仕様時のみ)

●リニア仕様の場合は、柱に加工をしてください。枠を取付けるときは、枠についている配線を柱の加工穴に通してから取付けてください。



■A部詳細図

※本図は外観右側にリニア仕様が取付く加工図を示します。(外観左側は、本図と左右対称となります。)



■取付け順序

■1 枠の取付け

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

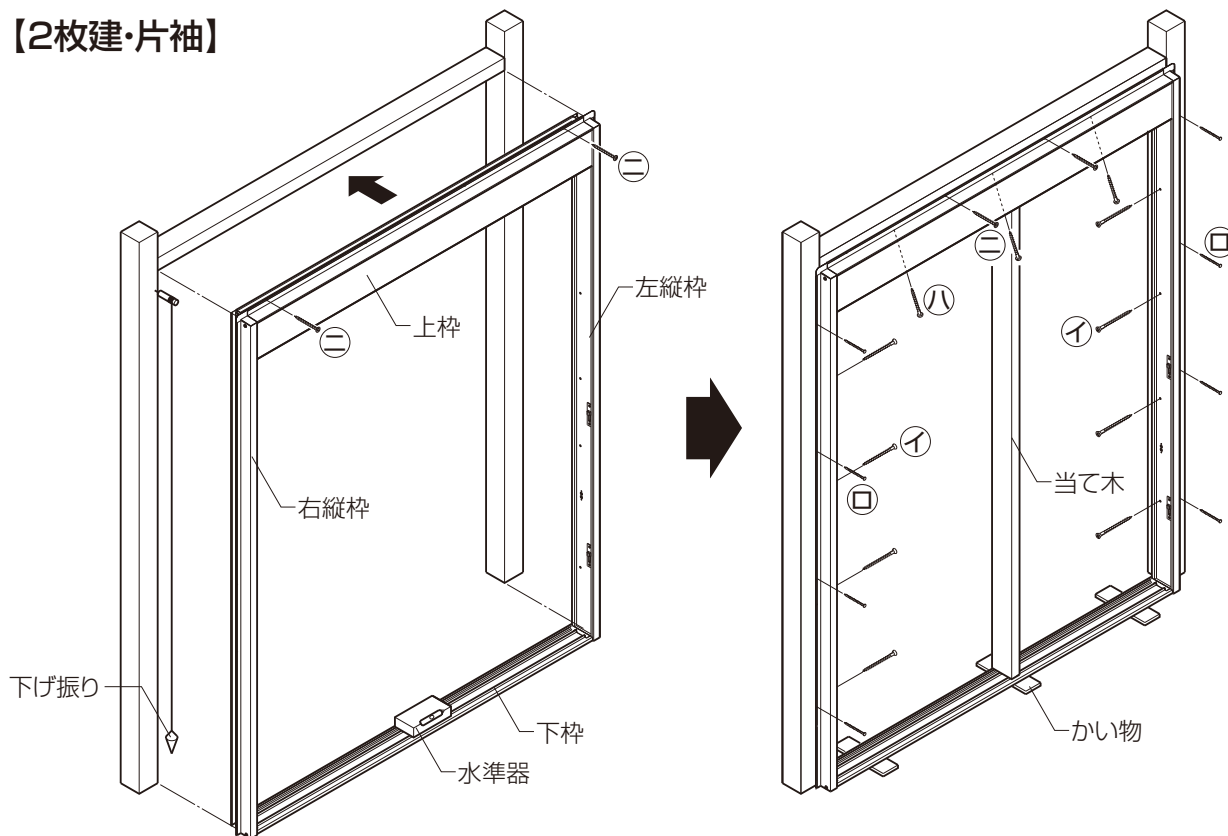
②下げ振り・水準器で枠のねじれたおれ・ゆがみを直した後、本固定します。

※下枠は、かい物・当て木などをして水平を出してください。又、モルタルの充てんにより、くわいが出ないようにしてください。かい物を入れる際は、下枠に当たらないようにしてください。

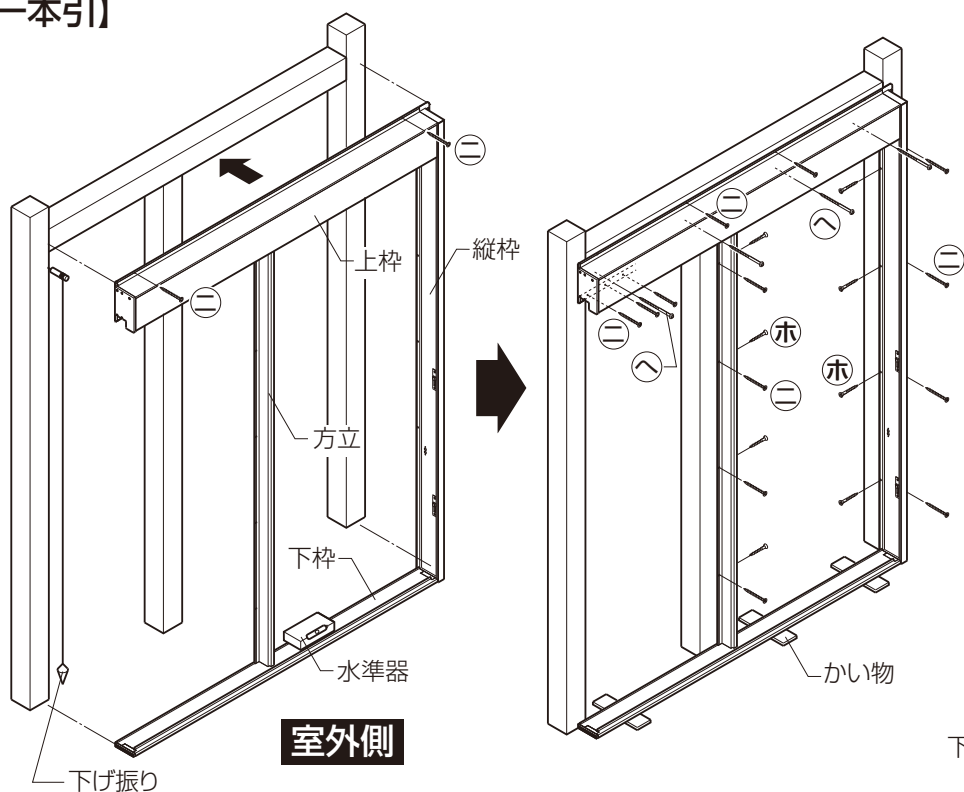
※仮施工時にも下枠にかい物・当て木をして、水平を出してください。障子を建込んだ際、下枠が垂れてしまい、障子が下枠に当たりキズが付くおそれがあります。

※下枠は端部と中央部で2mm以上のくわいが無いように、水平に施工してください。2mm以上のくわいがあると、リニアが正常に動作しなくなる可能性があります。

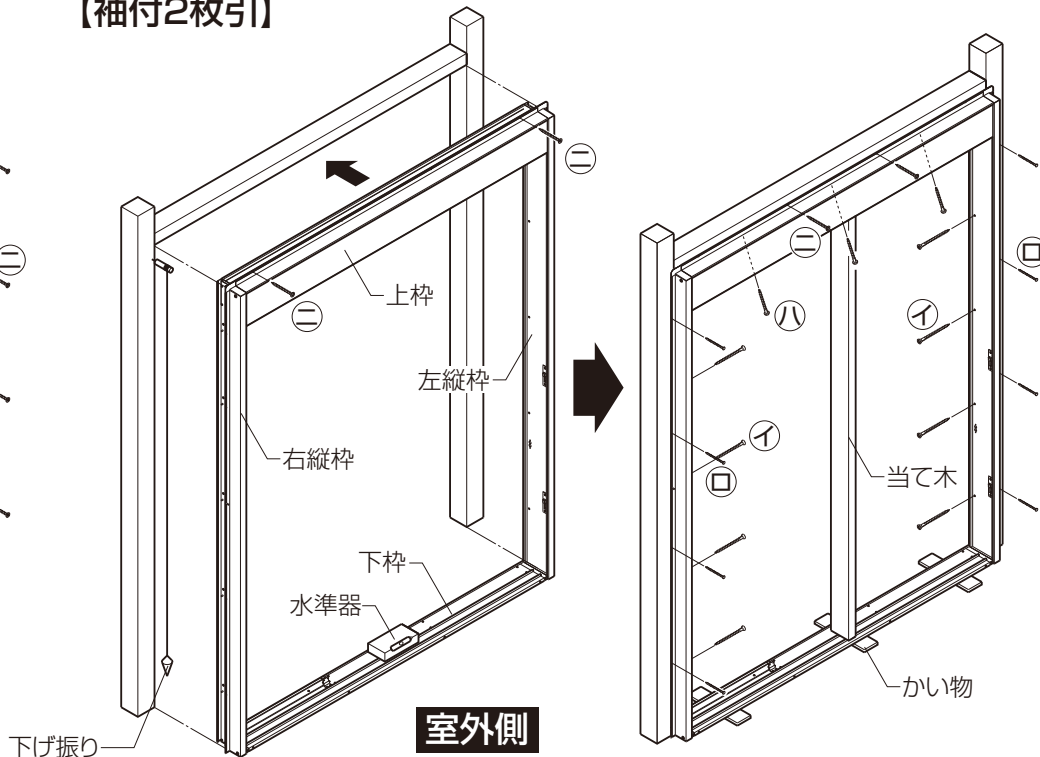
【2枚建・片袖】



【一本引】



【袖付2枚引】



■2 障子の建込み

※枠のタイプごとに異なるため、タイプごとに説明しています。

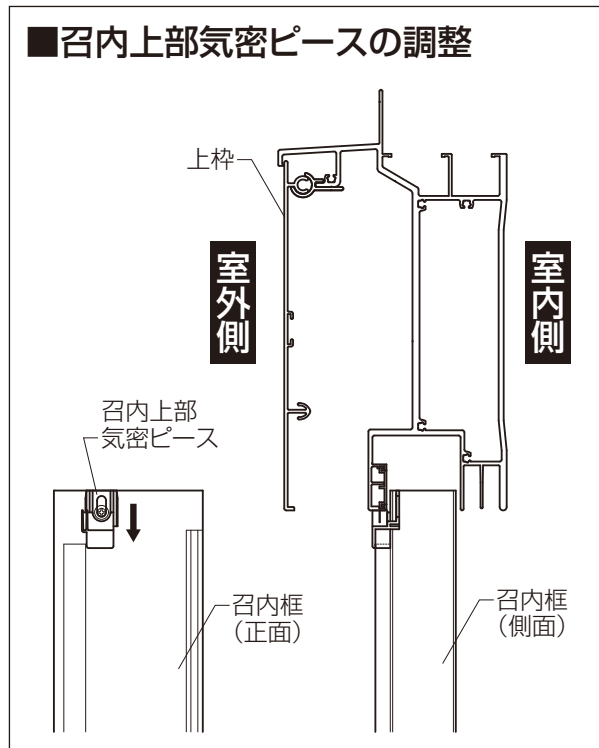
【2枚建】

①内障子を建込んでください。

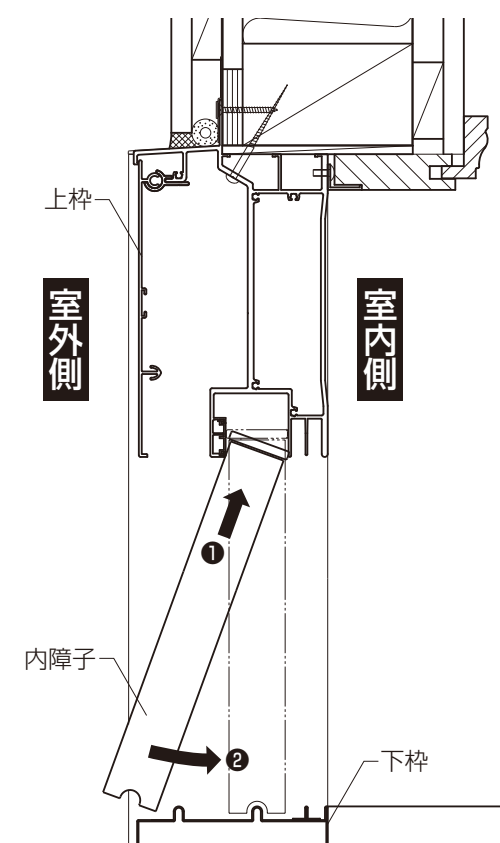
②障子の建付け調整をしてください。

③召内上部の気密ピースの調整をしてください。

■召内上部気密ピースの調整



■内障子の建込み



【片袖】

※袖を取付けてください。袖の取付けは、「袖 取付け説明書」を参照してください。

【袖付2枚引】

※障子を建込む前に、袖を取付けてください。

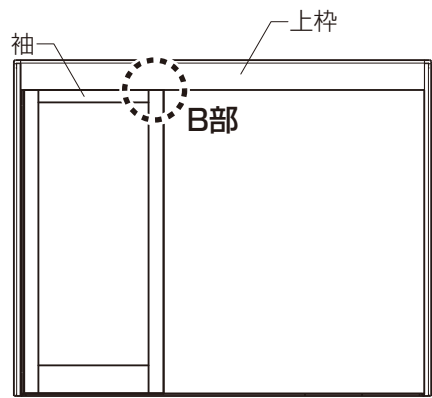
袖の取付けは、「袖 取付け説明書」を参照してください。

※障子を建込む際は、中障子から建込んでください。

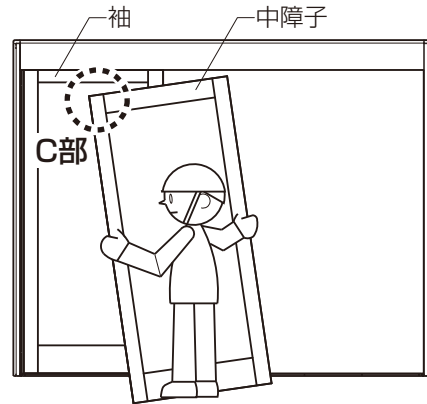
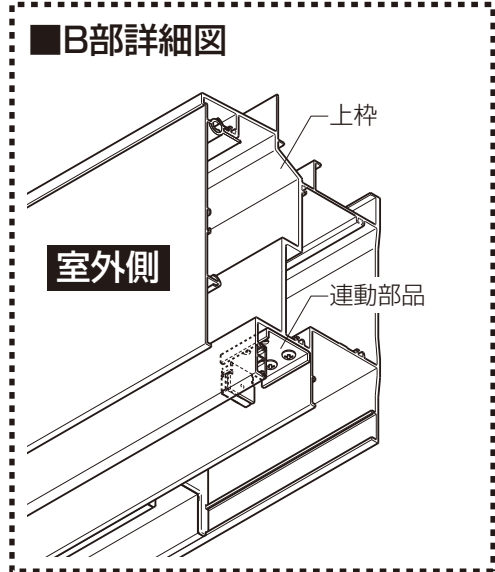
■中障子の建込み

●連動機構のため、中障子を建込む際は、上枠に取付いている連動部品と中障子上枠に取付いている連動部品を連結させる必要があります。中障子の建込み時に上枠の上側に取付いている連動部品を袖側(製品がRなら外観左、製品がLなら外観右)に寄せます。

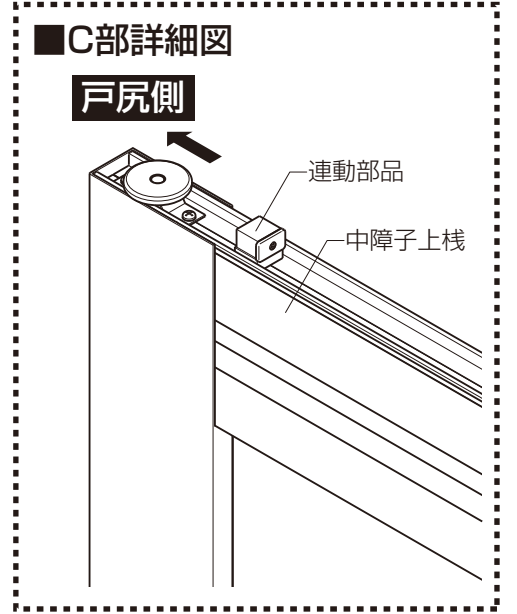
●上枠の連動部品は固定されていますので、中障子を上枠連動部品の中心にくるようにして建込んでください。建込み後、中障子を閉め方向に動かしてください。その際に「カチャッ」と音がします。この音は、連動機構のセッティングが完了した合図になります。



【外観図】



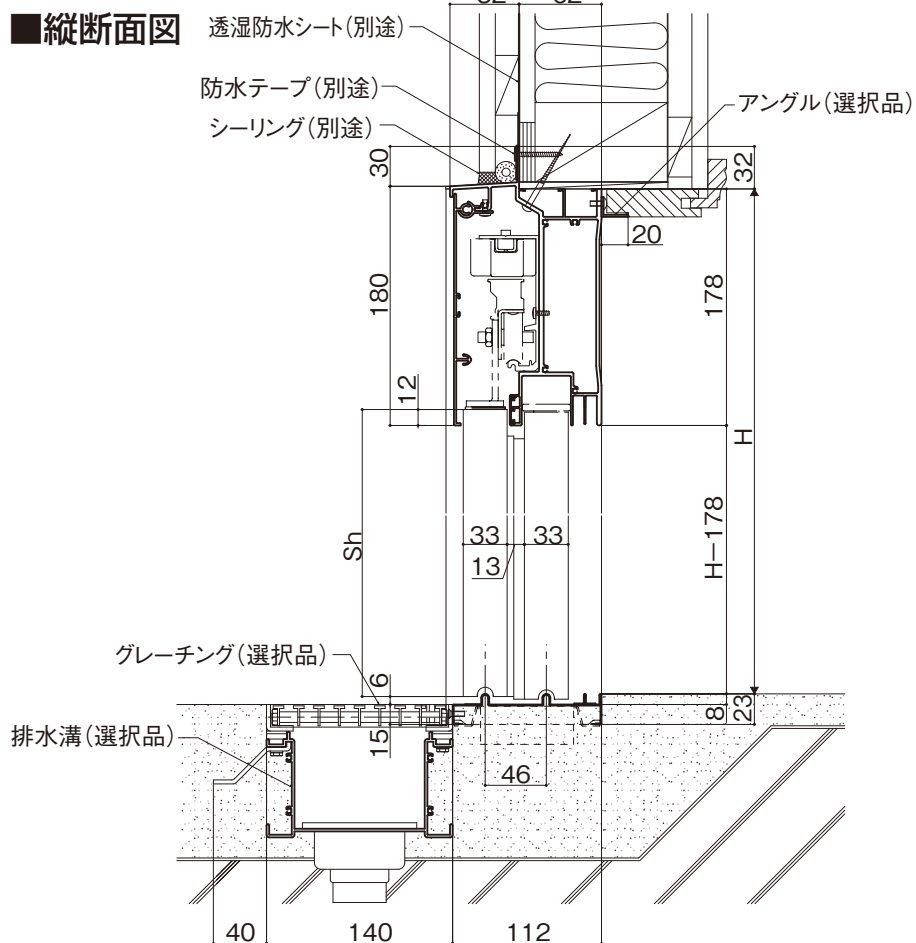
【外観図】



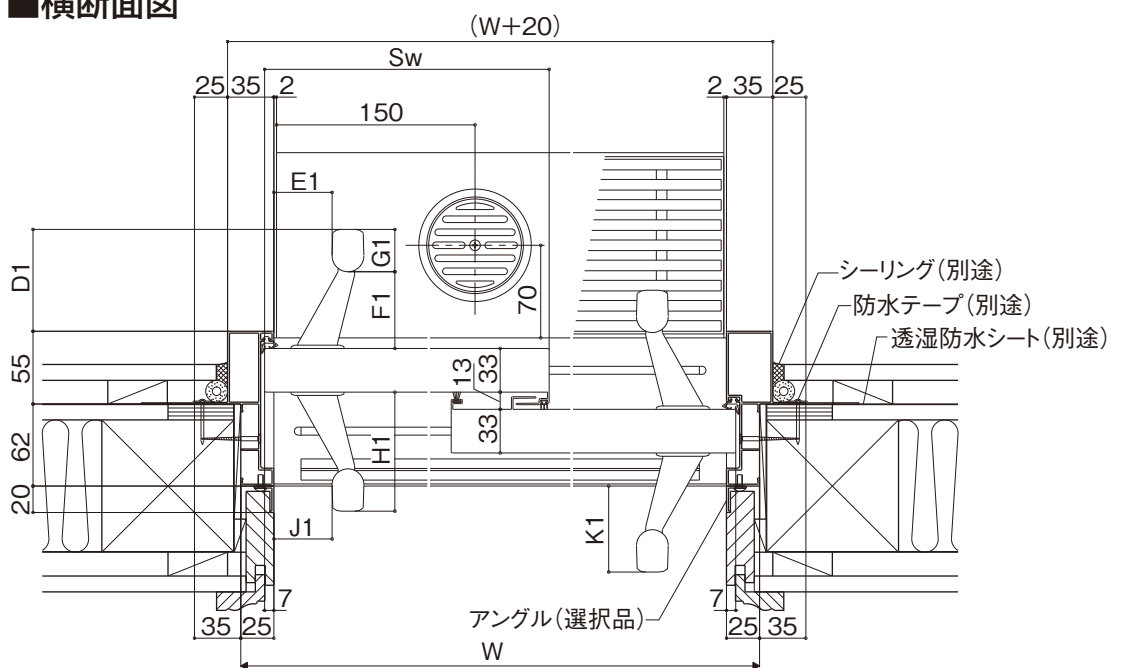
※外障子の建込みは、リニアスライドセットを取付けてからの建込みになります。
内障子建込み後の作業は、「リニアスライド 取付け説明書」を参照してください。

■参考納まり図

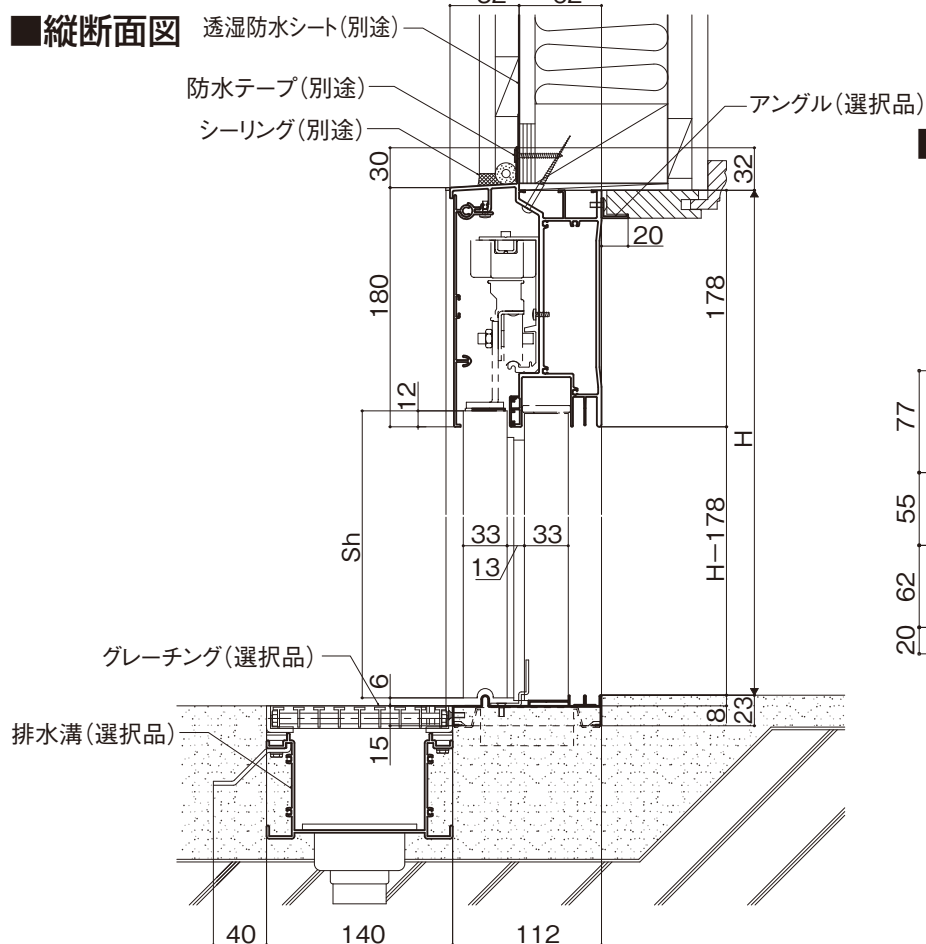
【2枚建】



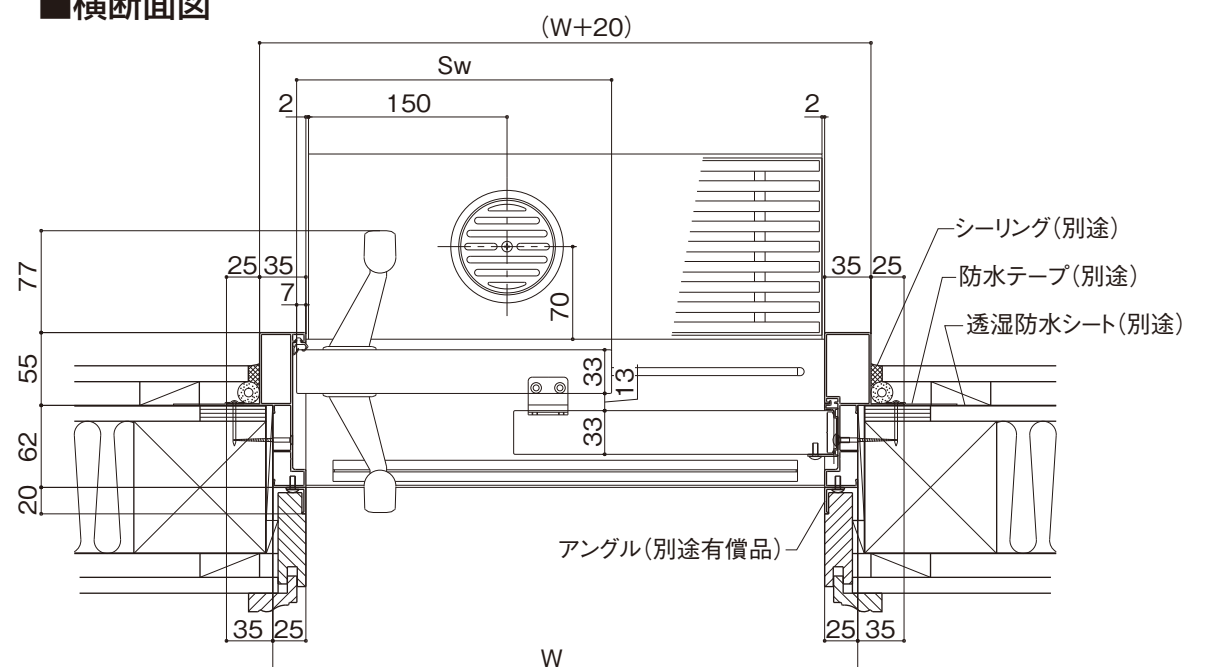
■横断面図



【片袖】

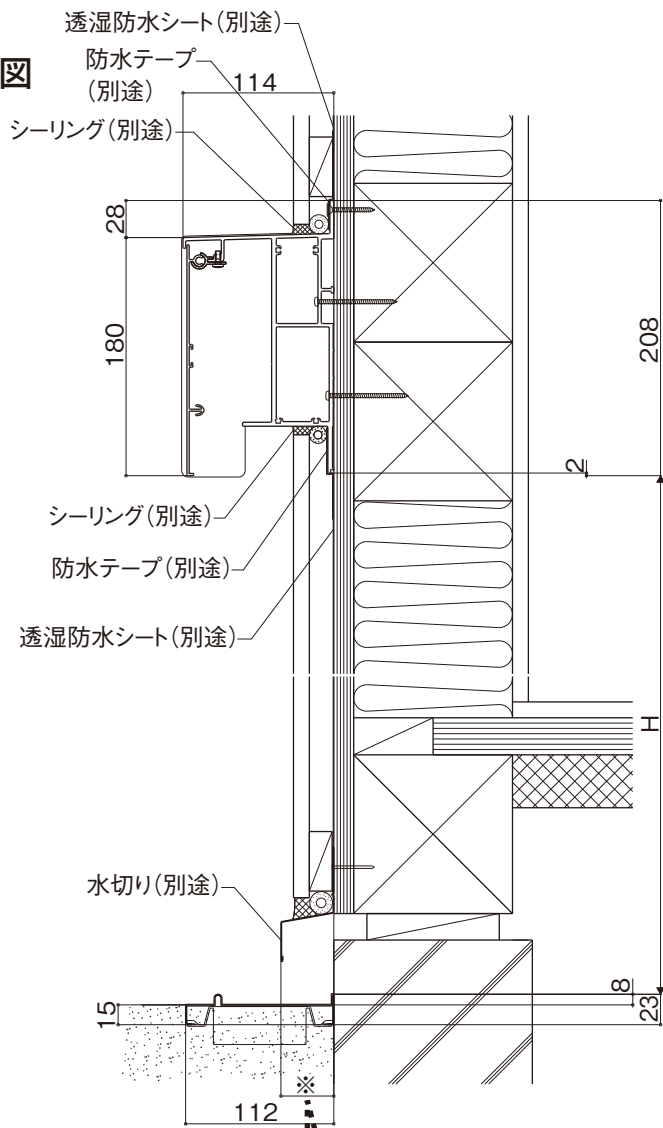


■横断面図



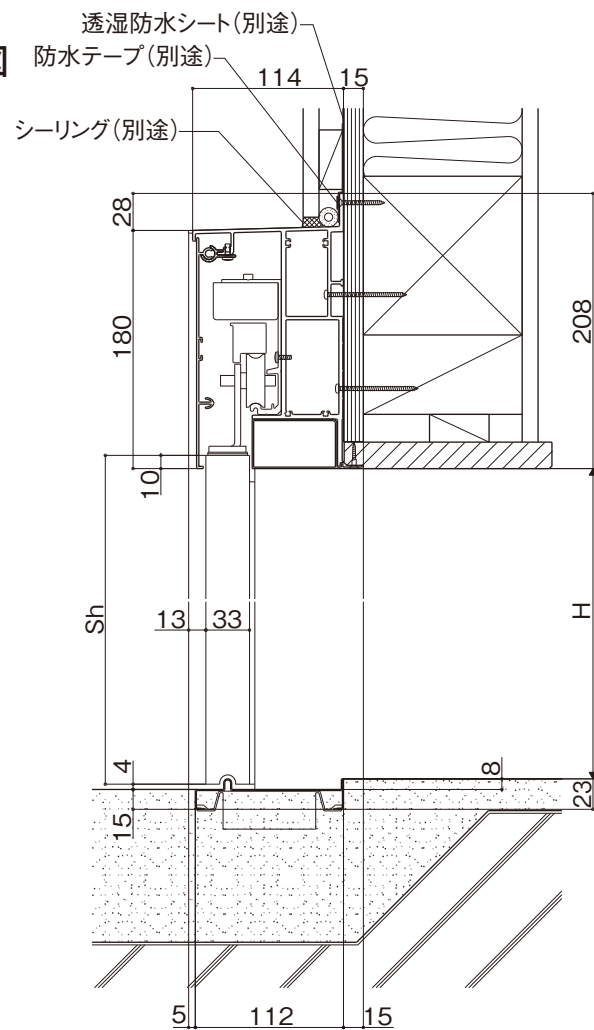
【一本引】

■縦断面図

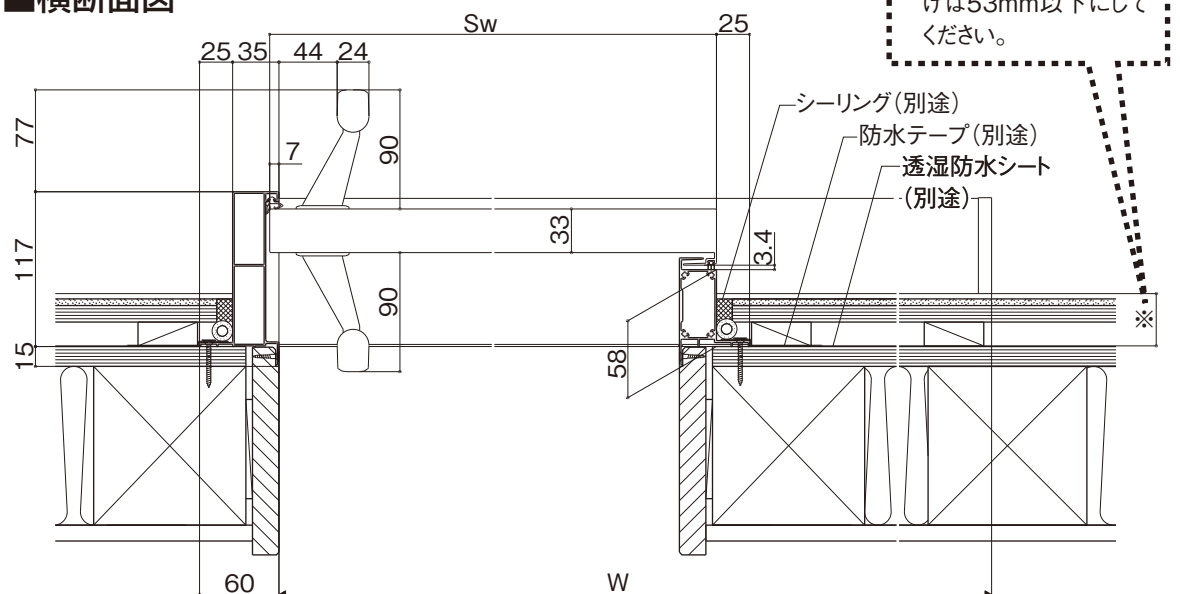


お願い
※障子と干渉するおそれがありますので、水切り出寸法および壁仕上げ面は53mm以下にしてください。

■縦断面図



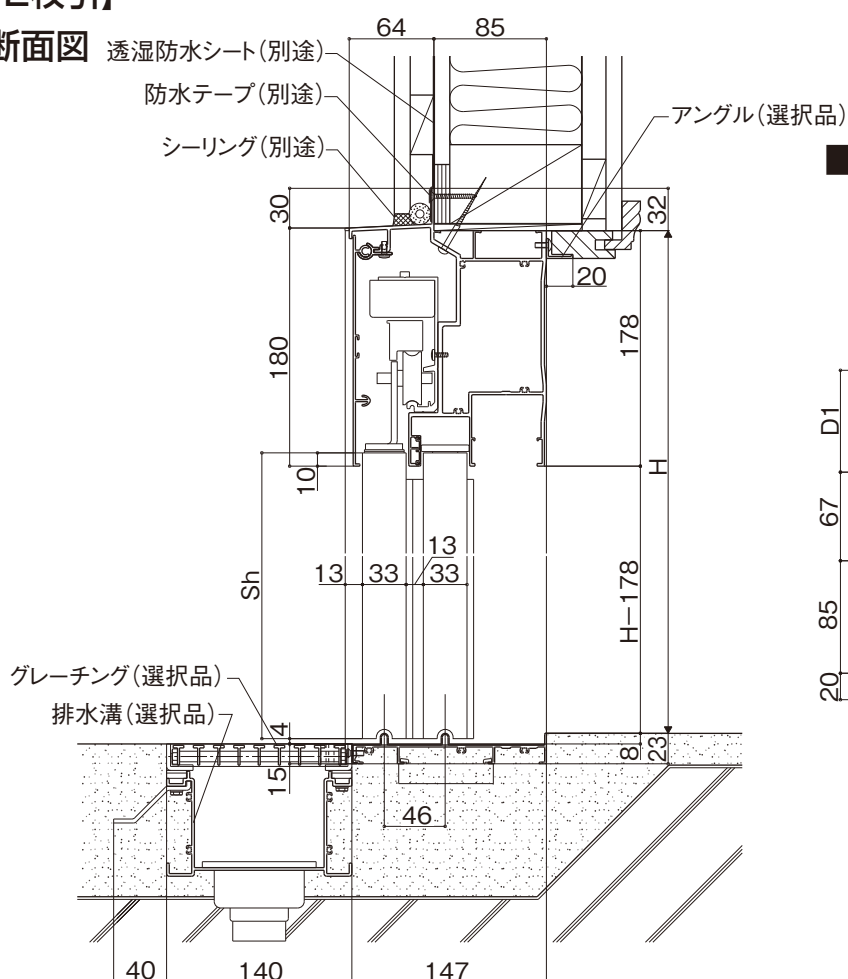
■横断面図



お願い
※障子と干渉するおそれがありますので壁仕上げは53mm以下にしてください。

【袖付2枚引】

■縦断面図



■横断面図

